

平成 28 年 12 月 26 日

熊本県水産研究センター 資源研究部
tel 0964-56-2511, fax 0964-56-4533
http://www.suiken.pref.kumamoto.jp/

沿岸資源動向調査結果概要 (H28 上半期 タチウオ)

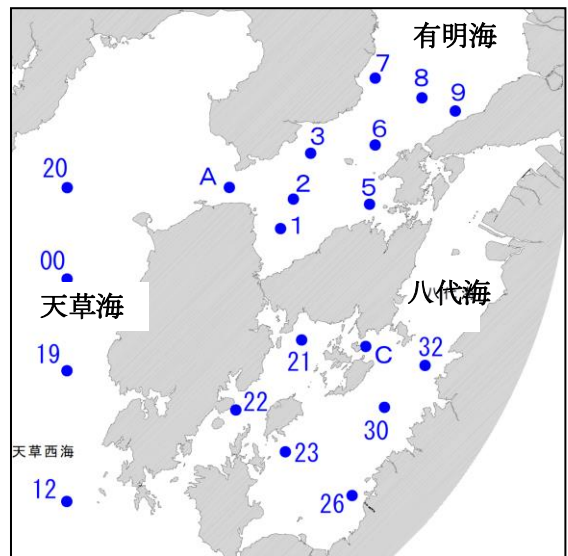
水産研究センターでは、毎月 1 回、本県の重要な魚類の仔稚魚の発生状況について調査し、漁獲予測等への活用を目指しています。

今回は、4~9 月調査分から、タチウオ卵数についてお知らせします。

調査定点は下図のとおりで、採集方法は、円形稚魚ネット（直径 1.3m）で、昼間に表層及び中層曳きにより採集しています。

1 調査地点

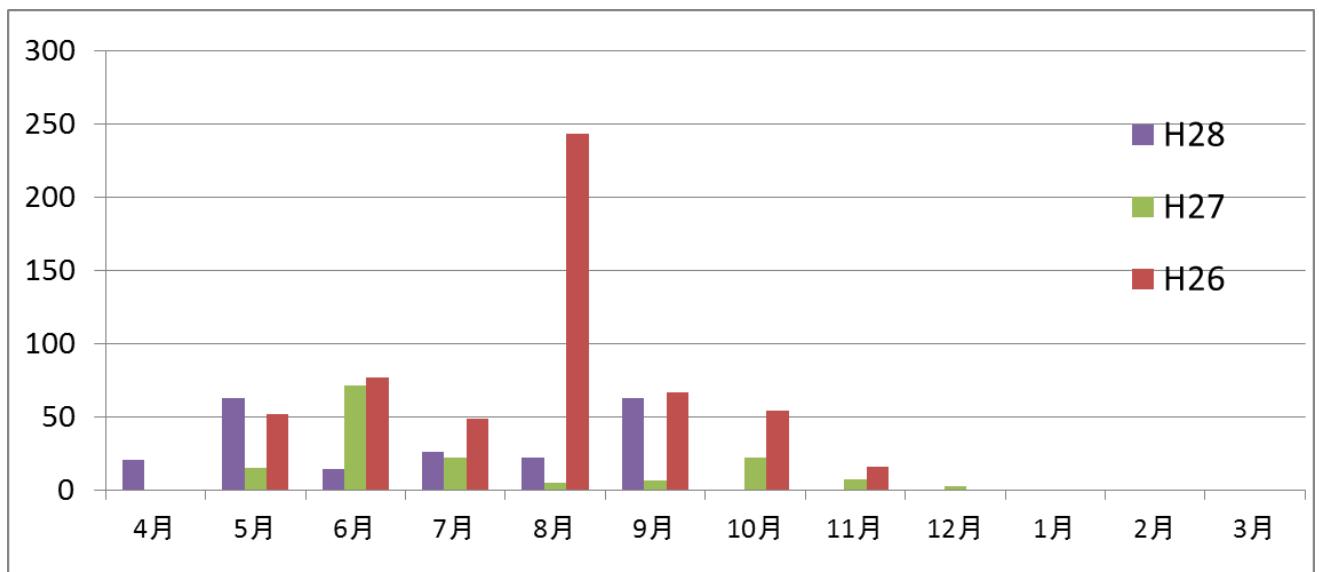
有明海 9 地点、八代海 7 地点、
天草海 4 地点で行いました。
(5~9 月は八代海、天草海のみ)



2 結果概要

八代海（タチウオ魚卵）

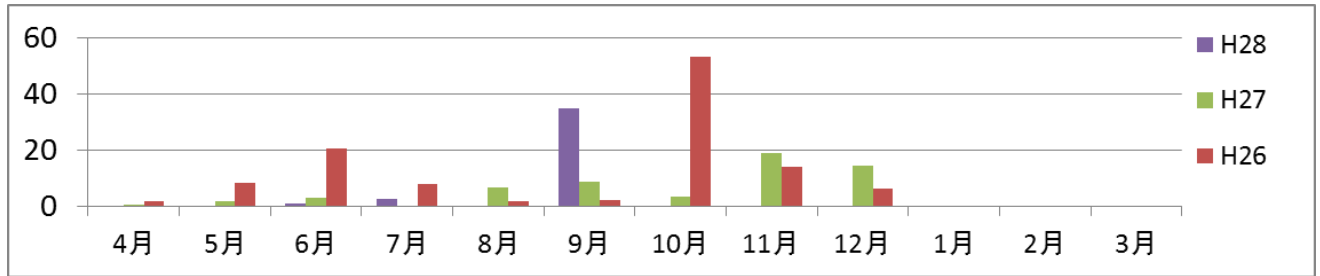
上半期の出現状況は、過去 2 ヶ年と比較し全体的に時期は「早め」、数は「少なめ」でした。



※グラフの縦軸は、海水 1,000 立方メートル当りの卵仔稚魚の出現数を表しています。
また、各海域の当月毎の全調査地点の平均を表示しています。

天草海（タチウオ魚卵）

上半期の出現数は、9月のみ過去2ヶ年より「多め」、その他の月では「少なめ」でした。



有明海では4月に調査を実施しましたが、過去2ヶ年と同様に卵の出現はありませんでした。